

「ふくすいき

令和4年8月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ビュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●福岡都市圏「水」キャンペーン 2022【開催されました】〔8/1（月）～8/7（日）福岡都市圏各市町〕

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、毎年8月1日を「水の日」、この日を初日とする1週間(8月1日～7日)を「水の週間」として、水の大切さについての普及啓発活動が全国的に行われています。

この「水の週間」に、福岡都市圏の各市町では、市長・町長をはじめ水道関係職員の皆さんが街頭に立ち、啓発チラシと有明海産の「福岡のり」を住民の皆さんに手渡ししながら、「水の大切さ」と「筑後川のめぐみ」について呼びかけました。

当企業団は、8月1日の福岡都市圏広域行政事業組合の主催によるJR博多駅での街頭キャンペーンに参加しました。

開会式では、参加者を代表して光山福岡市副市長から「福岡都市圏で使用する水道水は、コップ1杯の水の3分の1は筑後川の水であり、流域への感謝を忘れず、水を大切に使用してほしい」とのあいさつがありました。その後、国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、福岡市水道サービス公社、当企業団など水道関係者約50人が啓発チラシと福岡有明のりなどを通行する方々に配布し、「水の大切さ」と「筑後川のめぐみ」についてPRを行いました。



開会式（JR 博多駅前広場）

＜総務課 田子森＞



配布状況（筑紫口）



配布状況（博多口）



企業長（左）、福岡市副市長（右）

●令和4年第2回幹事会【開催しました】〔7/8（金）企業団運営協議会室〕

当企業団の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）の水道関係の部課長を委員とする令和4年第2回幹事会を開催し、令和4年第2回議会（定例会）に提出予定の議案などを説明しました。

＜総務課 佐藤＞

●令和4年第2回運営協議会【開催しました】〔7/22（金）WEB会議〕

当企業団の構成団体の首長で構成する令和4年第2回運営協議会を開催しました。

運営協議会では、8月19日及び22日に開催する令和4年第2回議会（定例会）に提出予定の令和3年度決算等について協議が行われ、いずれも原案どおり議会に提出することが了承されました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からZoomによるWeb会議形式で開催しました。

＜総務課 佐藤＞



運営協議会の様子



WEB画面

●令和4年度福岡地区水道企業団定期監査概況説明〔7/28（木）企業団大会議室〕

当企業団の定期監査が実施されるにあたり、鬼塚 昌 宏^{おにづか まさひろ} 代表監査委員 及び 小池 弘基^{こいけ ひろもと} 監査委員 に対して、組織及び職員配置、予算決算や主要事業の状況、及び前回の監査結果に対する措置等の説明を行いました。

また、物価高騰やカーボンニュートラルへの対応や構成団体への用水供給の状況等について、活発な質疑応答がなされました。

今後、令和3年度の事務・事業について、正確に、法令等に則って適正に行われているか、また、経済的かつ効率的に運営され、その目的を達成しているかという視点から、8月から10月にかけて各所属で実地調査等が行われます。

＜監査事務局 山田＞

■ 水源地域との交流事業

8月、9月の予定

● 筑後川・川の駅スタンプラリーを実施中です〔7/15（金）～11/25（金）〕

17 の市町で構成される福岡都市圏には、大きな川がないなど地理的に水資源に恵まれず、使用する水道用水の約 3 分の 1 を筑後川から取水しています。今日における圏域の安定的な水の供給は筑後川流域及び水源地の皆さまのご理解とご協力に支えられています。

このことから福岡都市圏広域行政事業組合では、都市圏と筑後川流域及び水源地域との相互理解促進のため、福岡都市圏住民の皆さまに、筑後川のめぐみや、流域とその水源地域の魅力を实际に感じていただきたいと思います。「筑後川・川の駅スタンプラリー」を実施します。

スタンプラリーに応募いただいた皆様の中から抽選で 100 名様に筑後川の魅力が詰まった豪華景品をプレゼントします。



1 主催

福岡都市圏広域行政事業組合

2 実施期間

令和4年7月15日（金）～11月25日（金）

3 応募締切

令和4年11月25日（金）消印有効

4 実施場所

筑後川の上～下流域に点在する川の駅（福岡県・大分県・佐賀県・熊本県）

5 応募方法

- ・筑後川流域及び水源地域に点在する「川の駅」（※1）に設置されているスタンプを5個以上（※2）集める。
- ・押印されたスタンプラリー用紙を下記「7 応募宛先」に郵送。

※1（筑後川における）「川の駅」とは・・・川の近くにあるか川の活動に関係した施設で、来訪者にトイレや休憩場所、地域の情報を提供し、人と人の出会いを促進する空間です。また、「川の駅」同士がお互いに協力・連携し、上・中・下流の人々の交流、連携に向けて活動することを目的としています。

※2 川の駅1カ所につき、1回押印可能です。

6 応募資格

福岡都市圏17市町在住者（現住所が福岡都市圏にある方）

7 応募宛先・お問合せ先

〒810-8620 福岡都市圏広域行政事業組合事務局 「川の駅」スタンプラリー担当 宛

電話番号 092-733-5004 メールアドレス fukuokatoshiken@nifty.com

※詳細につきましては、[こちら（福岡都市圏広域行政事業組合ホームページ）](#)をご覧ください。

●有明海クリーンアップ作戦【開催されます】〔8/19（金）柳川市久間田漁港〕

「有明海クリーンアップ作戦」は、宝の海である有明海を美しい海に戻し、未来に残していくために、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県の沿岸四県がひとつになって、毎年、実施している海浜清掃活動です。

地元の漁業関係者を中心に九州地方整備局筑後川河川事務所、独立行政法人水資源機構のほか、福岡都市圏から当企業団及び構成団体の職員が参加します。

＜総務課 田子森＞



ゴミ回収の様子

日 時 令和4年8月19日（金）7：00～

開催場所 柳川市 久間田漁港避難港

問い合わせ先 国土交通省筑後川河川事務所 管理課 TEL 0942-33-9185

■水源地域の主なイベント

7月、8月の予定

●甘木川花火大会 ながれかんじょうほうようかい 流灌頂法要会〔8/20（土）朝倉市小石原川甘木橋下流〕

（朝倉市から情報提供いただきました。）

約 4,000 発の大小の花火と 200mに所せましと仕掛けられる花火は夜空を色鮮やかに照らし、一段と美しく川面に映ります。

また、祖先の御霊を慰め、家内安全を祈願するため、流灌頂法要会が行われています。

日 時 令和4年8月20日（土）

花火打ち上げ 19:40～

※流灌頂法要会

盆踊り大会 中止

施餓鬼供養・灯籠流し 20:30～

※雨天順延 8月21日（日）または24日（水）

開催場所 小石原川甘木橋下流

問い合わせ先 朝倉商工会議所 TEL 0946-22-3835



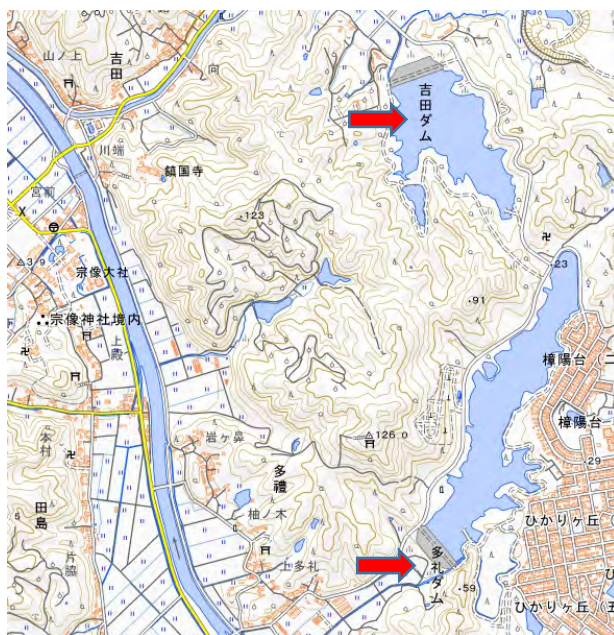
■ ダムいっとう！

このコーナーでは、主に福岡地区水道企業団や構成団体の水源となっているダムを探訪して、担当者からお話をうかがい、その特色や魅力に迫ります。

今回は、宗像地区事務組合の水源である吉田ダムと多礼ダムを訪ねました。

吉田・多礼ダムの近くには、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として平成 29 年 7 月に世界遺産に登録された宗像大社や新原・奴山古墳群があります。

また、「道の駅むなかた」は、新鮮な魚介類の直売所や食堂などがあり、宗像地区観光の人気スポットとなっています。



吉田・多礼ダム



写真 上：吉田ダム 下：多礼ダム

ダムの目的	上水道用水
利水者	宗像地区事務組合
管理者	宗像地区事務組合
完成年	1984 年

【吉田ダム】

所在地	宗像市吉田
河川名	釣川水系吉田川
型式	ロックフィルダム
堤高	24m
総貯水量	877,000 m ³

【多礼ダム】

所在地	宗像市多禮
河川名	釣川水系四十里川
型式	ロックフィルダム
堤高	27.5m
総貯水量	1,205,000 m ³



菊地課長（左）と松尾主査（右）



釣川の堰（川端堰）



取水ポンプ

宗像地区事務組合は、宗像市と福津市の水道事業を行っているところです。平成 28 年より北九州市への包括委託を行っています。

（松尾）私は、平成 10 年に途中で採用された（その時は組合の前身である宗像地区水道企業団でした。）プロパーの技術職員です。プロパー職員は現在 2 名のため菊地さんが来られて技術的に大変助かっています。

（菊地）私は、新卒で北九州市に採用され、水道部浄水課を最後に定年退職後、市の三セクである（株）北九州ウォーターサービスに入社し、宗像地区水道管理センターで勤務しています。自宅は、北九州市若松区にあり、40 分の車通勤ですが、ここは、自然が豊かでどのかな感じで大変気に入っています。仕事はダムや浄水場の管理、水道施設の更新・修繕等の発注などで、ダム水源から末端給水までの多岐にわたります。

吉田・多礼ダムは、水道用水目的のロックフィルダムで、両ダム合計の貯水量は 208 万 2 千 m^3 となっており宗像地区事務組合が管理しています。

ダムの特徴としては、浄水場から車で 5 分の近くにあること、

2 級河川の釣川に堰を設け、取水ポンプを使って吉田ダムに揚水（最大 2,000 m^3 /時間）しており、多礼ダムとは連絡トンネルでつながれ、水位は同じとなっていることです。

ダムに流れ込む河川はありませんので、ダムの貯水のほぼすべてが揚水によるものです。ただ、大雨に対する洪水吐は設けています。川からの取水については、水利権の関係で堰からの越流がないと取水できませんが、ほとんどそのようなことはなく安定して取水できています。

多礼浄水場の浄水能力は 29,600 m^3 /日で、原水はすべて多礼ダムに設けた取水塔からのもので川からの取水はありません。ダムからの原水供給は安定しています。

ダムの水については、

夏場はアオコの発生などがあるため、両ダムとも空気揚水筒で水を循環させ水質改善を行っています。やはり水質悪化が起こります。しかし、浄水場では生物活性炭を使った急速濾過方式により水質基準を満足した水道水を供給しています。

近年は、気候変動により豪雨災害はどこでも発生すると言われていますので、ダム管理の難しさが増してきていると感じています。



多礼ダム（右上が取水塔）

ちょっと寄り道♪

吉田・多礼ダムから玄界灘側に車で 10 分のところに「道の駅むなかた」があります。平成 20 年 4 月にオープンし、開館 12 年目の令和 2 年 9 月には来場者 2,000 万人を達成した人気スポットです。

ここでは、物産直売所、食堂、観光情報コーナーなどがあります。物産直売所では、玄界灘から水揚げされた新鮮な魚介類や地元産の旬の野菜が中心で、平日にもかかわらず多くの人が買い物をされていました。カフェテリア方式の食堂では、お昼時のため多くの客が並んでいましたが、海鮮丼をいただきました。

平成 29 年、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコ世界遺産に登録されました。沖ノ島には一般の人の立ち入りはできず、辺津宮（宗像大社）はよく知られていると思いますので、今回は、関連遺産群の「新原・奴山古墳群（福津市）」に行きました。



道の駅むなかた



新原・奴山古墳群（展望所からの眺望）

古墳群は古代の豪族宗像氏の墳墓とされており、前方後円墳 5 基、円墳 35 基、方墳 1 基が現存しており、展望所から見渡すことができます。当日は、案内ボランティアの方もいらっしゃいましたが、時間がなかったので展望所から全体を眺めることしかできませんでした。古代史に興味がある私としては、宗像大社の横に世界遺産のガイダンス施設も含めて、いつか 1 日かけてプライベートで回ってみたいと思っています。 <田>

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編集後記

新型コロナウイルス感染の第7波が来て急拡大しています。現時点では、行動制限等の措置はとられていないため、筑後川流域との交流事業は実施される方向ですが、予断を許さない状況となっています。



筑後川（久留米市）

さて、最近、読んだ本「暴れ川と生きる～筑後川流域の生活史（澤宮 優）」を紹介します。

筑後川は、「筑紫次郎」という別名を持つ九州最大の川です。「坂東太郎」と呼ばれる利根川、「四国三郎」と呼ばれる吉野川と並んで、「日本三大暴れ川」の一つとして知られています。

この本は、過去から現在まで筑後川が流域に与えてきた洪水などの被害や水の恵みなどについて、著者が約12年かけて取材等を行い、まとめられたものです。

川の源流から多くの支流を集め有明海に注ぐまでの流域の自然や過去の水害、現在かかえて

いる環境問題、川の恵みによる産業、文化などの発展、川と人のエピソードなどについて、わかりやすくまとめられており、筑後川の歴史と現在を知るための最適の一冊だと思います。

江戸時代に五人の庄屋が中心となって築かれた大石堰は、米作などに大きな恵みを与えたが、その後、年貢が増え、堰や水路の管理のための賦役が増えて、何度も一揆が起こったほど農民の暮らしは厳しく、堰による農民への本当の恵みは太平洋戦争後の農地改革後であったことやアフガニスタンの人々を干ばつから救おうとした故中村哲医師は水路建設にあたり山田堰を手本にしたことなどが書かれています。

また、下釜ダム建設における蜂の巣城闘争、筑後大堰や主要なダム、筑後川の伝統河川工法などについても詳しく触れられています。

中でも、流域に昔から住んでいる人へのインタビューにおいて、過去の水害記録と地元の対策を示され、「自然界の現象に想定外はありません」と言われており、私も、故中村医師の著書と併せて読んで、先人の川とともに生きる知恵の奥深さを感じました。

これから台風シーズンに入りますが、流域に被害が出ないことを願ってやみません。



筑後大堰

<田>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団

